

企画展プレスリリース「いにしえを描く」

平素より当館の事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
標記の件につきまして、本書のとおりご案内申し上げます。

1 展覧会名 「いにしえを描く」

2 会 期 令和3年12月4日[土]～令和4年2月6日[日]

休 館 日:月曜日(ただし、令和4年1月3日、10日は開館)

令和3年12月29日[水]～令和4年1月1日[土]、11日[火]

開館時間:午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)

3 展覧会概要(資料2～3ページ参照)

日本画は、明治期以降、時代の波にもまれながらその伝統を守りつつ変革を繰り返し現代に至っています。その中で「歴史画」は、日本画の主要なテーマの一つとして多くの画家たちによって継承され、描かれてきました。

明治維新の急激な欧化政策が落ち着き始め、伝統復帰の兆しがみえた頃、岡倉天心らが、「歴史画」の重要性を説きます。これらをきっかけに、各展覧会には歴史に取材した作品が多く出品され、秀作が数多く生まれました。戦後は、戦意高揚に寄与したことや民主化を目指す風潮から歴史画は低迷期を迎えますが、安田靉彦、前田青邨といった日本美術院を支えた重鎮たちやその弟子たちによって、その後も熱心な研究がなされました。

本展では、河鍋暁斎、松本楓湖から、下村観山、木村武山、安田靉彦など日本美術院等で活躍した画家たちの作品を通して、歴史画の変遷と魅力を紹介します。

4 出品作品(資料5ページ参照)



木村武山「曾我兄弟」
明治39-40(1906-07)年頃
個人蔵

「雁の親子が飛ぶ姿を見て、実父が討たれた境遇を悲しむ兄弟」

《問い合わせ先》

茨城県天心記念五浦美術館

〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿 2083

TEL:0293-46-5311 FAX:0293-46-5711

E-mail:kouho-tmi@tenshin.museum.ibk.ed.jp

展覧会担当:村木正英(むらき まさひで)／広報担当:横山智絵

※本リリースの記載内容は、当館ホームページで随時紹介いたします。

(<http://www.tenshin.museum.ibk.ed.jp/>)

企画展プレスリリース「いにしえを描く」

1 展覧会名

「いにしえを描く」

2 主催

茨城県天心記念五浦美術館

3 会期

令和3年12月4日[土]～令和4年2月6日[日]

休館日:月曜日(ただし、令和4年1月3日、10日は開館)、

令和3年12月29日[水]～令和4年1月1日[土]、11日[火]

開館時間:午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)

4 会場

茨城県天心記念五浦美術館

5 入館料

一般320(260)円／満70歳以上160(130)円／高大生210(150)円／小中生150(100)円

※()内は、20名以上の団体料金

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は指定難病特定医療費受給者証を持参の方および付添いの方1名は無料

※土曜日は高校生以下無料(12月25日を除く)

6 本展のみどころ

- (1) 岡倉天心に従い、新しい日本画の創造に取り組んだ日本美術院の画家たち、とりわけ下村観山、木村武山、安田靉彦、前田青邨といった明治から昭和にかけて日本美術史に大きな足跡を残した日本画壇を代表する画家たちの歴史に纏わる作品を展示。
- (2) 「黄初平」と「石非羊(石、羊に非ず)」は、小川芋銭が同じ画題(中国の仙人たちの伝記『列仙伝』の「黄初平」)に取材した作品を違った視点で制作。
- (3) 木村武山の師、桜井華陵と下村観山の中国の竹林七賢に取材した作品を展示。
- (4) 本県美術館で初めて展示する5作品
 - ・松本楓湖「高津聖詠」制作年不詳 個人蔵
 - ・河鍋暁斎「羅漢図」明治15年 個人蔵
 - ・桜井華陵「竹林七賢」制作年不詳 個人蔵
 - ・下村観山「布袋」大正5年 個人蔵
 - ・野田九浦「天平美人」大正8年 個人蔵
- (5) 歴史的、伝記的なテーマをわかりやすい解説をつけて展示

7 展覧会概要

日本画は、明治期以降、時代の波にもまれながらその伝統を守りつつ、変革を繰り返しながら現在に至っています。その中で、「歴史画」は神話や宗教説話も等も含めて、主要なテーマとして多くの画家たちによって継承され描かれてきました。

明治維新に始まる急激な欧化政策を背景とした近代化は、美術界においても混沌とした状況を生みますが、十数年が経過すると当初の混乱は落ち着きを見せ始め、同時に伝統復帰の兆しが見え始めます。その後、岡倉天心

らが「歴史画」の重要性を説いたことなどから、各展覧会には、歴史に取材した作品がこぞって出品され、秀作が数多く生まれました。

戦後になると、戦意高揚に寄与したことや民主化を目指す風潮から歴史画は低迷期を迎えますが、安田靉彦や前田青邨といった日本美術院の重鎮やその弟子たちによって、その後も研究が進められました。

本展では、茨城県近代美術館の所蔵品に県内在住の所蔵家の方々のご協力を得て、河鍋暁斎や松本楓湖をはじめ、下村観山、木村武山、安田靉彦など日本美術院の画家たちから現在も活躍している画家の作品 23 点をとおして、歴史画の変遷とその魅力を紹介するものです

8 広報文

- (1) 企画展「いにしえを描く」では、茨城県近代美術館と県内在住の所蔵家の協力を得、国内外の歴史や物語に取材した近代から現代までの作品 23 点を紹介する。「歴史画」は、日本画の重要なジャンルの一つとして古くから多くの画家たちによって研究され描かれてきた。本展では、河鍋暁斎や松本楓湖をはじめ、下村観山、木村武山、安田靉彦など日本美術院の画家たちから今日の日本画壇で活躍する画家たちの意欲作を展示し歴史画の変遷と魅力を探る。(203文字)
- (2) 「歴史画」は、古くから日本画の重要なジャンルの一つとして位置づけられ、多くの画家たちによって研究され描かれてきた。企画展「いにしえを描く」では、茨城県近代美術館と県内の所蔵家の協力により出品された 23 点の意欲作を紹介し、その魅力に迫る。(118文字)
- (3) 江戸末期から現代まで、日本画壇で活躍した画家による「歴史画」23点を通してその変遷と魅力を紹介する。(51文字)

9 主な出品作品(6点)

小川芋銭^{いしひつじにあらず}「石非羊」大正 15(1926)年 個人蔵

下村観山^{ちくりんしちけんず}「竹林七賢図」大正4(1915)年頃 茨城県近代美術館蔵

木村武山^{そがきょうだい}「曾我兄弟」明治 39-40(1906-07)年頃 個人蔵

松本楓湖^{たかつせい}「高津聖詠」制作年不詳 個人蔵

小林古径^{かつげもの}「禄」明治 41(1908)年 茨城県近代美術館蔵

河鍋暁斎^{らかんず}「羅漢図」明治 15(1882)年 個人蔵

10 会期中のイベント

すべてのイベントは事前の申込みが必要です。申込方法は次のいずれかの方法をお選びください。

ただし、イベント毎に選べる申込方法が異なりますのでご注意ください。

・申込フォーム

ホームページの URL、または各種チラシの QR コードを読み込み、必要事項を記入してください。

・往復はがき

①イベント名及び開催日、②申し込む方のお名前、③日中連絡のとれる電話番号、④可能ならメールアドレス等を記載し、下の宛先までお送りください。

〒319-1703 北茨城市大津町椿2083
茨城県天心記念五浦美術館 ○○(△月◇日)係

・来館(総合受付または情報ライブラリー)

その場で申込書をご記入ください。

(1) 展覧会担当者による作品解説

展覧会のみどころなどをスライドを用いてご紹介します。

- ・日時：①12月18日[土]、②令和4年1月16日[日] 各日13時30分～(約30分)
- ・会場：講堂
- ・定員：30名 ※参加無料、要事前申込(先着順)
- ・申込方法：申込フォーム、往復はがき、来館(総合受付)
- ・申込締切：申込フォーム及び来館・・・①12月17日[金]1、②1月15日[土]1 ※16時まで
往復はがき・・・・・・・・・・①12月10日[金]、②1月7日[金] ※必着

(2) 新春邦楽コンサート

- ・出演：江川 紗英(箏)
- ・日時：1月29日[土] 11時～、14時 (各回40分)
- ・会場：講堂
- ・定員：各回30名 ※参加無料、要事前申込(先着順)
- ・申込方法：申込フォーム、往復はがき、来館(総合受付)
- ・申込期間：未定

(4) 映画会(場所:講堂/各回定員:30名/事前申込・先着順/入場無料)

- ① 12月5日[日] 10:30～(開場は10:20)
「成功争ひ・夕立・衝突」1914年制作/モノクロ/アメリカ/監督:チャールズ・チャップリン/ヘンリー・レアマン
- ② 1月9日[日] 10:30～(開場は10:20)
「キートンの探偵学入門」1924年制作/モノクロ/アメリカ/監督:バスター・キートン
- ③ 2月6日[日] 10:30～(開場は10:20)
「ロイドの要心無用」1923年制作/カラー/アメリカ/監督:フレッド・ニューメイヤー
- ・申込方法：申込フォーム、往復はがき、来館(情報ライブラリー)
- ・申込期間：①11月5日[金] 10:00～11月26日[金] 11:00
②12月9日[木] 10:00～12月28日[火] 11:00
③1月6日[木] 10:00～1月28日[金] 11:00

11 感染症拡大防止について

当館では、感染症拡大予防として次のような取り組みを行って参ります。

- いばらきアマビエちゃんへの登録(スマートフォンをお持ち出ない方は連絡先を確認いたします。)
- マスク着用のうえ美術館入口での検温および手指の消毒(消毒液は館内数か所に設置しています。)
- ソーシャルディスタンス確保のための展示室内に滞在する人数の制限
- イベント参加人数の制限
- イベント参加者の把握
- リモートワークショップの開催

【広報用図版】 ※表紙の木村武山「曾我兄弟」も提供可能です



下村観山「竹林七賢図」大正4(1916)年頃 茨城県近代美術館蔵
「中国古代に俗世間をさけて竹林に集った7人の隠者」



小川芋銭「石非羊」
大正15(1926)年 個人蔵
「羊を飼う少年が行方知れずとなり、のちに仙人になったという伝説」



松本楓湖「高津聖詠」
制作年不詳 個人蔵
「高津に都を移した仁徳天皇が、民を思った歌を詠んだという記紀の物語」



河鍋暁斎「羅漢図」
明治15(1882)年 個人蔵
「羅漢とは、悟りに達した仏教修行者(高僧)のこと」



木村武山「法然上人」
大正6(1917)年 茨城県近代美術館蔵
「法然上人が念仏を唱えていると勢至菩薩、観音菩薩が傍らに来たという説話」

※図版使用に際しての注意

- ・展覧会の紹介を目的とする内容にのみ使用願います。
- ・図版への文字乗せ、トリミング等の一切の加工は御遠慮ください。
- ・図版使用の際は必ずキャプションを明記してください。
- ・図版はデータでの提供となります。

広報担当まで連絡、または右QRコードを読み込んでリクエストしてください。



【問い合わせ先】

茨城県天心記念五浦美術館 〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿 2083
TEL : 0293-46-5311 FAX : 0293-46-5711
E-mail : kouho-tmi@tenshin.museum.ibk.ed.jp
展覧会担当 : 村木正英 / 広報担当 : 横山智絵
※本リリースの記載内容は、当館ホームページで随時紹介して参ります。



当館HPへ